

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

| | | | | |
|--------------|--|------------|----|----------------------|
| ① 対象者 | 2008年4月から2023年6月の間に、当院にて胃全摘術を受けた残胃癌や肉眼分類大型3型/4型胃癌の患者さん | | | |
| ② 研究課題名 | 残胃癌や肉眼分類大型3型/4型胃癌における脾摘を伴う脾門リンパ節郭清の有効性 | | | |
| ③ 実施予定期間 | 倫理審査委員会承認日 ~ 2025年3月 | | | |
| ④ 実施機関 | 静岡がんセンター | | | |
| ⑤ 研究代表者 | 氏名 | 大野優紀 | 所属 | 胃外科 |
| ⑥ 当院の研究代表者 | 氏名 | 大野優紀 | 所属 | 胃外科 |
| ⑦ 使用する検体・データ | 診療録より後ろ向きに収集 | | | |
| ⑧ 他機関への提供 | 無 | | | |
| ⑨ 提供先の責任者 | 氏名 | | 所属 | |
| ⑩ 目的 | 本邦の胃癌治療ガイドライン第6版では、上部進行胃癌や残胃癌進行胃癌に対して脾臓を摘出すること（脾摘）は、大彎に浸潤しない腫瘍に対しては脾摘を行わないことを強く推奨するが、大彎に浸潤する腫瘍に対しては行うことを弱く推奨すると記載されています。上部進行胃癌に対する脾摘の有効性を検証した第Ⅲ相国内多施設共同試験では、大彎に位置する腫瘍、肉眼分類大型3型/4型、残胃癌の症例は除外されており、こうした症例の脾摘の有効性は明らかではありません。この研究の目的は、残胃癌や肉眼分類大型3型/4型における脾摘の有効性を評価することです。 | | | |
| ⑪ 方法 | 残胃癌や肉眼分類大型3型/4型胃癌に対して、当院で胃全摘術を行った患者さんを、脾摘を行った患者さんと脾摘を行っていない患者さんの2グループに分けて、術後合併症の発生率や、生存率、無再発生存率を比較検討します。 | | | |
| ⑫ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2024年3月13日 | | |
| ⑬ 公表 | 研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。 | | | |
| ⑭ プライバシー | 本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。 | | | |
| ⑮ 知的財産権 | 知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターの規程に従って取り扱います。 | | | |
| ⑯ 利益相反 | 本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。 | | | |
| ⑰ 資料の参照 | 本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。 | | | |
| ⑱ お問い合わせ | 連絡先 | 臨床研究事務局 | 電話 | 055-989-5222（内線3379） |
| | 事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 | | | |

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長